

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネスマンスクール東京・札幌の首席講師として年200回以上の授業に登壇。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ 代表取締役。

キャリアアドバイザーに聞いた!

転職サリセス への道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"

vol.17

再応募を考えてみよう。

一度不採用になった会社だけれど、念願の仕事だったことに加え、再度募集を目にすると応募したくなるもの。そんな再応募について考えてみましょう。

その前に、 再応募がOKな会社?

企業によっては『再応募不可』と定めている場合もあります。いくら意中の企業でもそのルールを無視して応募するのは自分勝手。ここは潔くあきらめましょう。また再応募を認めていても「ある程度の期間(半年・一年など)」を経たから」ということを条件としている企業も多いようです。再応募に関しては、そのあたりの情報収集からスタートしましょう。

そもそも その会社しかないの?

ついでもうひとつお聞きしたいのは、「本当にその会社しか選択肢はないの?」ということ。企業側にも一度不採用の判断を下しているという意識があります。再チャレンジの勇気を評価してくれるケースも稀にあるでしょうが、やはり他の一般応募者に目が行くもの。その会社に入りたいたいという絶対的

理由とその仕事はその会社しかないのかを自問してみましょう。

不採用の理由を把握し 改善しよう。

それでもトライしたい! そんなあなたが取り組むべきは、前回の不採用理由を自覚すること。その理由が改善されていない限り、何度応募してもどれくらい時間をあけたとしても採用担当者は首を縦に振りません。加えていうなら、不採用の理由が「面接の態度が悪い」「性格的に社風に合わない」という場合も採用は望めないでしょう。

一方、「資格や経験不足」「能力が達していなかった」などであれば、望みを捨てる必要はありません。その部分を補うための資格の取得や専門的な学習、効果的な自己PRなどに積極的に取り組み、十分にアップデートされた自分をアピールすれば、念願の「採用!」に一歩近づくことが出来るでしょう。

二度目の面接では あなたの熱意を!

再応募の面接では、それほどまでに入社したいというあなたの熱意を伝えることも大切。二度不採用をいただきましたが、どう

しても御社で働きたく、○○の資格取得や○○セミナー受講、○○の経験などでスキルを蓄えて参りました。以前とは全く違う自分をぜひ見てください」などのトークが好例です。

